

平成23年度 第4回庄内町行政改革推進委員会 会議録

- 1 開催日時 平成23年11月30日(水) 18時30分～20時00分
- 2 開催場所 庄内町役場 西庁舎 第二会議室
- 3 出席委員 石川茂吉、岡部一宏、川村昭三、大瀧国夫、齋藤紀世子、佐々木武夫、志田重一、和田明子
- 4 欠席委員 遠藤 仁、高橋紀子
- 5 事務局等 情報発信課長、企画係長、永田主任

-
- 1 開 会 情報発信課長 (18:30)
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 確認事項等
資料確認及び本日の日程について(事務局)

4 協 議

(1) 平成23年度庄内町事務事業評価に係る外部評価結果について(意見書)(案)について

【事務局】 意見書(案)の概要について説明

【委員】 これまで妥当性を明記してきた部分について、表現方法を修正したということであるが、委員会の独自性を表すことができるため、提示された案のとおり、方向性を示すべきと思う。

【委員】 立谷沢川流域振興事業などに対して、もっとおもしろい内容を付け加えてはどうか。

【委員】 スクールバス運行事業について、現状の運行形態では事故等が発生した際、問題が生ずるものと思われるため、対処の方法を明確にしていく必要がある。また、総合型地域スポーツクラブの不正経理問題については、町民に対し現在の状況を明らかにする必要がある。金銭を戻せば良いといったことではなく、外部監査を設置するなどの対応の必要性について明記すべきである。また、中心市街地商業等活性化事業についても、一店逸品運動のみならず、今後整備予定である新産業創造館及び温泉施設との関係性について言及すべきである。現在、町の取組みで最も注目されている事業である。

【事務局】 付帯意見にどのような形で盛り込むべきか。

【委員】 新産業創造館、温泉施設と中心市街地活性化のリンク付けが必要である。

【事務局】 方向性が拡充して継続ということで、現在行っている一店逸品運動の充実を上げたところである。今後整備予定の新産業創造館及び温泉施設を中心市街地の活性化に結び付けていくべきといった内容となるか。

【委員】 6次産業の推進を中心市街地活性化につなげるような内容にすべきである。

【委員】 スクールバスについて、今後民間委託を進めるにしても、コスト等具体的な数字の精査をしたうえで検討すべきである。この部分を加えた意見とすべき。

【委員】 民間委託に移行し、青ナンバーにすべきである。本来ならばこのような形態であるべきである。そうすれば、雇用面及び安心感も生まれる。

【事務局】 以前の会議にて話題となった車輛のリースは、自己所有と比較してコスト安となるのか。

- 【委員】 リースの方が安い。
- 【委員】 ただし、リースを導入したとしても、車検整備等については、地元の整備工場等に任せるべきである。町外の企業からのリースの際は、車体のみとするなど、契約の手法を考慮すべきである。
- 【委員】 意見書別紙における附帯意見全体について、もう少しインパクトを持たせた内容に修正してはどうか。
- 【事務局】 特に力を入れてもらいたい事項があればインパクトが強い文章となるが、全般的な内容となると、少しぼやけた内容となるのは致し方ないことである。
- 【委員】 総合型地域スポーツクラブの関連については、監査制度の問題だけではなく、意識の問題である。教育委員会部局に対する町長部局の監査は外部監査ではなく、内部監査の範疇である。考え方が民間と異なる。
- 【事務局】 総合型地域スポーツクラブについては、そもそも準備委員会自体に監査体制が整備されていなかった。これについては、対応が必要と思われる。また、町としても、クラブに対して補助金を交付していることから、町としての監査、チェックが必要である。
- 【委員】 補助金がスムーズに流れていない状況にあるのではないか。
- 【委員】 広域行政事業における新庄酒田地域高規格道路が開通した後、素通りされてしまうことによって中心市街地活性化につながらないのではないかとといった懸念がある。中心市街地活性化との関連についても考慮していくべきである。
- 【委員】 良いもの、良いまちづくりをすることによって、人を呼び込もうといった逆の発想を持って進めていくべきである。
- 【事務局】 このことについては、様々な要望会等で行われている点である。今後、新潟県と山形県の県境部分が繋がるわけであるが、便利になることによって人が来ることもあれば、出ていくこともありうる。このようなことから、沿線自治体が魅力的なまちづくりに躍起になっている状況にある。
- 【委員】 大きな魅力があれば、都会からでも人は来ると思われる。
- 【委員長】 それでは、これまで協議した内容について、付帯意見について具体的な文言を加えることとしたい。
- 【事務局】 今回のご意見を尊重した修正を加え、確定については委員長一任とさせていただきたい。もしくは、修正案を皆さんに提示した方がよいか。
- 【委員全員】 委員長一任の声あり
- 【事務局】 それでは、年内にまとめたうえ、町長に対し委員長より直接提出する。

(2) その他

- 【委員】 例年指摘していることであるが、評価シートを見てみると、内容・手段が毎年同じとなっている事業がある。これは変えることはできないのか。次年度の対応などについての記載がない。
- 【委員】 庄内町に限らず、他の自治体においても毎年の事業費以外の部分は大きく変わっていないところが多いのが現状である。評価シートに工夫もしくは委員会用の資料に加えることにするかなどの対応が必要ではないかと思われる。
- 【委員】 数値が4年後まで全て同じである。数値的な部分についても精査していくべきである。
- 【委員】 数字を伴った文章表現がベストである。

5 その他

次回の日程調整について

出席委員の調整を踏まえ、次回開催は平成 23 年 11 月 30 日（水）午後 6 時 30 分からの開催に決定。

会場については、庄内町役場西庁舎第二会議室とし、案内通知により再度お知らせすることとした。

6 閉 会

(2 1 : 0 0)